

当クリニックにおける新型コロナウイルス 感染疑い患者の対応について

明厚会 大石内科クリニック

○大塚克幸 城本聖矢 山口宏文 盛岡稔

清川栄美 鈴木弘恵 大石明

【はじめに】

2020年3月1日に国内初の新型コロナウイルス感染の透析患者が確認された。全国の透析患者の感染者数は増加しており、透析クリニックにおいても対策が急がれている。

当クリニックにおいても感染拡大を防ぐ為にいくつかの対策を行なった。今回、当クリニックに通院中の透析患者が感染疑いとなった際に隔離室を使用したケースを経験したので報告する。

【新型コロナウイルスの経過】

- ・《2019年》
- ・ 12月31日中国湖北省武漢市にて原因不明の肺炎患者が27名発生した。
- ・《2020年》
- ・ 1月3日武漢市の患者が44人に増えて世界保健機関WHOに報告された。
- ・ 1月16日国内において武漢市に滞在歴のある人の国内初感染が確認された。
- ・ 1月31日WHOが国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言した。
- ・ 3月1日国内において最初の新型コロナウイルス感染の透析患者が確認された。
- ・ 3月3日当クリニックの入口を一般外来と透析で分けた。
- ・ 当クリニックにおいてユニバーサルマスキング・手指の衛生の徹底を行った。
- ・ 3月11日WHOは新型コロナウイルスがパンデミックに相当すると発表した。
- ・ 3月25日～4月3日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース1
- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する問診票・個室隔離対応マニュアル作成した。

- ・ 4月7日日本政府は緊急事態宣言を発した。
- ・ 4月22日～5月9日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース2
- ・ 5月4日当クリニックにおいて更衣室・下駄箱使用制限をした。
- ・ 5月25日国内において日本政府が緊急事態宣言を解除した。
- ・ 7月上旬国内における新規患者数の急激な増加があった。
- ・ 7月16日～25日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース3
- ・ 7月22日～8月10日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース4
- ・ 7月24日～27日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース5
- ・ 8月15日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース6
- ・ 9月12日～14日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース7
- ・ 9月12日院内における新型コロナウイルス感染疑い対応ケース8

- ・ 8月7日時点で透析患者の感染者は、160人
致死率14.4%(23/160人)
- ・ 8月5日時点で一般人口の感染者は、41129人
致死率2.5%(1022/41129人)

【クリニックにおける対策1】

- 発熱や感染の疑いが生じた患者に来院前に電話連絡をする様に指導した。
- クリニック入口にもアルコールを設置しているが、必ず全員が行う様に、体重測定時に手指の衛生を徹底した。
- 不特定多数の外来患者と透析患者の動線が交わらない様に、3月よりクリニックの入口を外来患者用と透析患者用に完全に分けた。また新型コロナウイルス感染疑い患者は個室隔離を行い裏口から入室する事で一般透析患者と動線が交わらない様にした。
- 一般外来では感冒様症状の患者は原則電話診療とした。

【クリニックにおける対策2】

- 『咳エチケット』では新型コロナウイルスの感染拡大を抑えられない為、ユニバーサルマスキングの徹底を行った。3月より院内透析患者全員にマスクをしてもらう事にした。同時にマスクが手に入りにくかった為、希望者には数枚単位で販売も行った。
- 個室隔離対応においてはマニュアルを作成し、PPE(個人防護具)の適切な着脱を行った。
- 密となり得る更衣室の利用を避ける為に着替えないで透析を行う事を選択できる様にした。また、下駄箱での密と顔に靴が近づく事を避ける為、外履きで透析室に入室してもらう事にした。



外来患者入口



透析患者入口



隔離室入口



隔離室

【隔離室で対応したケース1、2】

平均年齢66.3 歳

男性6名、女性2名

	年齢	性別	症状	PCR検査	
	個室使用日				
	隔離室対応内容				
1	39歳	男性	有	未	
	3月25日～4月3日 5回 発熱なし				
	3月25日本人より『東京在住のパートナーの同居の姉が発熱して間接的に接触してしまった。職場は、25～27日まで自宅待機になった。』と連絡あり。本人もパートナーも発熱なく経過して4月6日より通常透析となる。				
2	76歳	女性	有	(一)	
	4月22日～5月9日 8回 初日のみ37.5℃翌日より平熱				
	4月21日の夜にKT39.0℃の発熱あり。家族が咽頭痛あり。23日まで37.7℃と熱が続いた為PCR検査する事になる。24日に陰性を確認したが、検査時の接触を考慮して5月9日まで個室隔離となる。11日より通常透析となる。				

【隔離室で対応したケース3～5】

3	72歳	男性	無	未	
	7月16日～25日 5回				発熱なし
	7月11日同居の家族が行ったラーメン屋で新型コロナウイルス陽性者発生する。本人、家族共に2週間症状なしで経過する。28日より通常透析となる。				
4	45歳	男性	有	未	
	7月22日～8月10日 9回				2週間発熱
	7月22日某病院受診後に発熱・咳あり。8月5日まで発熱と咳の症状が続く。12日より通常透析となる。				
5	60歳	男性	有	(一)	
	7月24日～27日 2回				個室対応時発熱なし
	7月20日透析後KT37.5℃頭痛あり。22日37.0℃で症状消失したが、『最近東京でカラオケをした。』と話あり。7月28日PCR検査を行う。30日に陰性を確認する。30日より通常透析となる。				

【隔離室で対応したケース6～8】

6	85歳	女性	有	未	
	8月15日		1回	個室対応時発熱なし	
	8月12日家族が名古屋から帰省した。13日の透析後KT37.5℃と発熱あり。14日の夕方38.3℃と発熱あり。18日症状消失を確認して通常透析となる。				
7	85歳	男性	無	(一)	
	9月12日～14日		2回	発熱なし	
	某病院受診時に、同じ病棟に新型コロナウイルス陽性患者発生する。9月14日PCR検査にて陰性を確認する。17日より通常透析となる。				
8	68歳	男性	無	(一)	
	9月12日		1回	発熱なし	
	某病院受診時に、同じ病棟に新型コロナウイルス陽性患者発生する。9月14日PCR検査にて陰性を確認する。15日より通常透析となる。				

【おわりに】

当クリニックでは開院当初から毎回のシーツ交換を行うなど感染対策に努めてきた。

新型コロナウイルス感染予防対策として、可能な範囲で3密を避ける事は勿論、患者教育も重要と思われる。

新型コロナウイルスは無症状でも感染させる事がある為、感染疑いにおいても隔離室での透析が望ましい。

茨城人工透析談話会
COI開示
筆頭発表者：大塚 克幸

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係
にある企業などはありません。